（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス　といろ			
○保護者評価実施期間	２０２５　年　１２　月　２２　日　～　２０２６　年　１　月　１０　日			
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	34	（回答者数）	19
○従業者評価実施期間	２０２５　年　１２　月　２２　日　～　２０２５　年　１２　月　２７　日			
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	5	（回答者数）	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026　年　１　月　１６　日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○「といろに行きたい！」「といろの先生が好き」と一人一人に思ってもらえるように丁寧な療育を行っています。 ○固定せず、興味や関心に応じた活動を展開しています。	・日々の姿、様子から観える成長を連絡帳だけでなく口頭でも丁寧に伝えています。保護者さんからも「毎回丁寧にお話をしてくれる」と喜んでいただいています。	・指示や命令になっていないか？声掛けや促し方の一つひとつを日々の会議で振り返り、関わり方や職員の質の向上を図ります。
2	○「遊びが学びになる」活動 遊びを通して運動や学び、コミュニケーション支援を行っています。 ○「考えてみる」「意見交換できる」活動 ・すぐに教えず一緒に考え、見守りもしています。 ・グループワークを取り入れた活動も大切にしています。	・「やりたい！やってみよう！」と児童が自発的に取り組めるような活動の提供や展開の工夫をしています。 ・自発的な取り組みの中で生まれる、「創意工夫・試行錯誤」を引き出し、非認知能力を育めるように活動を計画しています。	・児童は「楽しく」職員は「専門的な視点で」 日々の会議の中で、ねらいや目標に即した活動となっているかを確認しアップデートしていきます。
3	○個々に応じた支援・活動の展開も考えています。 ○自由時間も！大事にしています。 放置ではなく、児童がしたい遊びに職員が飛び込み、友達との関係性を見守り、仲立ちをしながらコミュニケーション支援をしています。	・年齢や能力、特性に応じて個別や小グループに分けた活動を展開し、一人一人の目標に即した活動参加の方法を考えています。 ・「職員が児童の遊びに飛び込む」ことで心の内面を探り、より専門的な支援ができるように努めています。	・日々の会議の中で様子や気づきを職員間で共有し、特性や発達に応じた支援方法の見直し、検討をしています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○保護者への情報発信 日々の療育活動のねらいや目的、意図を保護者に伝えきれていないと感じます。 ○保護者が事業所の中を知る機会 保護者が事業所へ足を運びやすくなることで日々の様子を直に観られる機会を増やしたいと考えています。	・送迎支援を十分に行うことで事業所に足を運んでもらう機会を減らしているとも考えています。 ・保護者が参加できる行事や参観の機会が不足していると考えています。	・ICTの導入、活用をすることで保護者が知りたい情報発信を行い、日々の様子をより具体的に知ってもらえるよう検討しています。 ・「たまにはといろへ迎えに行ってみよう！」と気軽に事業所へと足を運んでもらえるよう、保護者が参加できる行事を検討していきます。
2	○年齢や成長のニーズに応じた療育活動の提供 中学生の進路や社会生活における課題、経験のための活動や支援が不十分だと考えています。	・進路や就労に向けて具体的な課題や必要な経験についての知識や情報が事業所として不足していると感じています。	・事業所でできるライフスキルトレーニングの充実を図っていけるよう情報収集や研修を行っていきます。
3	○他事業所、地域との交流 他のデイサービス、地域の児童との交流機会を設けていくことが今後の課題です。 ・地域の方々との交流（高齢者など）	・地域の児童館を利用するなどは既に行っていますが、継続した交流方法の検討が必要と考えています。	・他の福祉施設等との連携や情報共有ができる場に赴くことで、交流機会を作っていければと考えています。

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	放課後等デイサービス　といろ

公表日　令和　8年　1月　19日

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	90%	5%	5%		２つのスペースに区切られている所が子どもにも分かりやすく安心して活動しやすいと思う。 子どもが大きくなるにつれて少しスペースが狭く感じることがある。	定期的に見直しを行い安全に過ごせるように努めていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	60%	30%	5%	5%	少ない気がします。	法令に基づき、利用人数や子どもの特性に応じた職員配置を行っています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	100%					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	90%	5%		5%		これからも安全で清潔な空間を保てるように努めていきます。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	95%	5%				研修や職員会議にて専門的な質が向上できるように今後も務めていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	95%			5%		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されていると思いますか。	95%	5%				個別支援計画は関係法令及び、ガイドラインに基づき作成しています。児童の特性や意向、保護者の意向を踏まえ、わかりやすくニーズに応じた支援内容や目的となるように努めます。
	8	個別支援計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	90%			10%		
	9	個別支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	85%	10%		5%	運動系やゲーム性のある活動が多いのでクッキングや実験的な活動もあると喜ぶと思う。 色々な活動プログラムを作成して下さっていると思います。	クッキングや実験遊びも行っています。同じ活動の繰り返しにならないように見直しも行っています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	20%	35%	5%	40%		一緒に活動、交流する機会は持てていません。今後の課題として検討していきます。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%					
	13	「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%				しっかりと個別支援計画の内容について説明をして下さりました。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	50%	20%	20%	10%	過去にあったかどうかわかりませんがもしあれば参加したいと思う。	今後の課題として検討していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	95%	5%			毎回、丁寧に子どもの様子を伝えてもらえ安心して任せられている。 送迎時にその日にあったことを伝えてくれるのでありがたい。	送迎支援を利用されているご家族にも日々の様子を丁寧にお知らせすることに努めています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	95%	5%				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	95%	5%				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	20%	25%	30%	25%	もし実施されるなら大変ありがたい取り組みなのでお願いしたい。 兄弟にも誕生日会などのイベントに参加をさせてもらえて良かった。	コロナ以降、保護者交流ができる機会を作れていませんでした。課題として検討していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	80%	20%				必要に応じて対応をしています。お気軽にご相談ください。

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	95%	5%			連絡ノートだけに頼らず直接お話もでき、しっかりした伝え合いができていると感じる。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	95%	5%				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	80%	15%	5%			今後も十分に気を付けていきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	70%	20%		10%		定期訓練の様子をホームページやおたより、インスタグラム等で発信しています。 皆様に届きやすい発信方法を常に検討していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	70%	10%		20%		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	70%	15%		15%		
	26	事故等（怪我等を含む）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	80%			20%	今までに事故などは無いが、小さな怪我でもしっかりと伝えてもらっているので安心している。	「見てませんでした」「気づきませんでした」が起こらないように努めていきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	100%				先生方の人間性がとにかくいい。事業所を選んだ一番の決め手となった。	「といろに行きたい！」「といろの先生が好き」と思っていただけるように、 日々の関わりを大切にし、療育に努めていきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	95%	5%			特性上、集団が苦手だが、先生方のおかげで「仕方ない」と割り切れて通えている。 毎回楽しみにしています。 行けるのなら何回でも利用したいと本人は思っています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%				いつもありがとうございます。 家からの持参でもいいので、おやつタイムがあると活動への意欲も高まるのでは？と思う。身体を動かす内容が多いのでなおさら。	

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス　といろ

公表日　令和　8 年　1 月　19日

		チェック項目	はい	いいえ		課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5	0	基準を満たした人員配置を行っています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	定期的な見直しを職員会議で行っています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	意見を把握できるように日々の報連相を大切にしていきます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。	5	0	ケース会や毎日の職員会議にて振り返りや気づきを共有しています。	
	13	個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	他の福祉施設等との連携や情報共有ができる場に赴くことで、交流機会を作っていければと考えています。	
	14	個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	5	0	モニタリングや個別支援計画だけでなく、保護者からの情報を毎日の職員会議にて共有しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0		
	16	個別支援計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	固定化されないように活動後の振り返りを行い、職員間での意見交換をしています。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	年齢、発達に応じて個別、小グループ、集団と目標に応じた計画、実行をしています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	朝礼にて打ち合わせ、注意事項の確認を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	5	0	自分の中で一度整理をしたいという職員の意見を反映し、次の日の職員会で話し合いをしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	支援方法や支援計画に活かせるように内容のブラッシュアップも行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	活動は「自発的に」をテーマに計画し、試行錯誤できる機会やグループワークによる意見交換時間も大切にしています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	1	学校送迎時に担任と子どもの様子や日々の変化を情報共有しています。必要に応じて会議へ同席も行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	5		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	3	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	2		児童館の利用は行っているが、交流活動としては十分ではありません。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	小さな成長や頑張りを捉え、お伝えできるように自由時間も大切にしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	5		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		
	38	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか 。	5	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	必要に応じて協議をしながら、チームで対応しています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	3		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	必要に応じて協議をしながら、チームで対応しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	発信することに追われ、療育の中身がおろそかにならないように気をつけてもいます。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5		今後の課題として検討していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	利用者との定期的な訓練、職員会議での見直しを行っています。	作成、訓練共に実施していることが保護者に伝わるように周知の方法を検討していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	安全に関する計画やマニュアル集を玄関に設置し、閲覧できるようしています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	AED、心肺蘇生法の研修も定期的に受け、繰り返し訓練しています。	保護者へ届けられる発信の方法が課題です
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	4	1		保護者へ届けられる発信の方法が課題です
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	5	0		